



997号
2025年1月21日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

社員試験の合格増

正社員登用に変化あり

昨年末、2024年度の正社員（一般職）への登用、地域基幹職へのコース転換の合格者が発表された。正社員登用、地域基幹職の合格者数はこの数年で一番多かった。

正社員登用（一般職）

2024年度		2023年度		2022年度		2021年度	
応募者数	合格者数	応募者数	合格者数	応募者数	合格者数	応募者数	合格者数
5,585	3,774	6,704	3,276	8,135	2,761	10,124	2,850

地域基幹職等コース転換

2024年度		2023年度		2022年度		2021年度	
応募者数	合格者数	応募者数	合格者数	応募者数	合格者数	応募者数	合格者数
6,136	4,505	6,837	4,114	6,727	2,101	6,300	1,458

合格者数増加は評価できる。しかし、気にかかる点がある。

正社員登用の応募者数が年々減少し、21年度の半数近くとなっている。来年度の応募者数は更に減る可能性が高そうだ。希望者の正社員化が進み、応募者自体が減っている。

正社員登用後の給与を知って、最初から応募しない社員もおり、理想と現実の隔たりは大きい。応募者が減り続ける様であれば、社員登用制度の見直しが必要となる。実際、正社員登用された後給与などの待遇に不満を持ち、仕事を辞めた社員や正社員を辞退して時給に戻す事を決断した社員も出るなど、正社員登用制度に関して問題が無いとは言えない。一方、転居を伴う異動や役職起用もある地域基幹職は合格者数が急増している。21年度は23%、22年度は31%の合格率が、23年度は60%、24年度

は73%となった。コース転換は応募者数の変化が少ないが、応募条件として直近2年間で1回はS査定が必要となる。S査定は相対評価による割合があり、狭き門となっている。

このS査定に手が届かず、コース転換に応募できない社員が多いのが現実だ。

しかし、合格者数がこの2年で増えた為、これまでよりはS査定を取れる可能性は高まっている。2025年度も多くの合格者を期待したい。

会社の春闘方針を注視

決定ではないが、一般職と地域基幹職1級2級の統合案を前回の春闘で会社は示している。

前年度からのコース転換合格者数急増は、将来統合するのであれば、合格人数を増やしても問題ないからだと言念する意見すらある。

統合した場合、労働条件は改善され、人員不足が深刻な過疎地域へ転居を伴う人事異動発令等が社員意向を聞かずに行われる事などが予想される。

2025春闘で、どのような方針が示されるか注視が必要だ。

配達区の見直し

適正な人材配置として、配達エリアの見直しや減区、減員が行われている。

郵便物の減少等が理由として挙げられるが、追跡系郵便物の増加や速達等もあり、社員負担は大きい。

長年配達している社員から、将来を懸念する声が上がっている。

「65歳まで、とても配達の仕事は続けられない」経験者が音を上げる職場では、未経験者である新規採用者は育ちにくい。

スキル評価の高い社員には時給上乘せがあるが、仕事を始めたばかりの人は業務量と時給が割に合わない。

年に2回行われるスキル評価で時給が上がる事を待つまでもなく、辞めて他のバイトを探す人も出るだろう。

幸いな事に、求人は多い。また、年齢が若い社員も同様に、転職を考え始める。

現在の給与水準から将来性を期待できず、業務負担ばかり増えるのだから仕方ない。

若い世代の将来を考慮すれば仕事を覚えるより転職が正解かも知れない。

新成人・二十歳の皆様へ

心よりお祝いを
申しあげます

成人となっても、飲酒や喫煙はこれまで通り二十歳以降となっています。

成人となった事で、ローンやクレジットカード等の契約はできませんが、注意は必要です。

できる事が増える分、同時に責任も求められます。社会に出れば、これまでとは生活環境が異なり、苦労する事も多いと思います。ですが自分を信じて希望を持ち、明るい未来となる様、挑戦して下さい。

そして、これまで成長を見守ってくれた家族の皆様への感謝を忘れず、感謝の気持ちを伝える事も忘れないで下さい。

今後の予定

- 2月 4日(火) 17:00～
第6回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 2月 4日 予定